

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## クレア本部での勤務を振り返って

私がクレア本部に勤務したのは、四半世紀前の平成3年10月からの2年半で、勤務場所は東京都の市ヶ谷でした。所属は業務課で、JETプログラムの外国人青年の配置案作成が主な仕事でした。自分が外国人青年の日本での何年間の運命を決めてしまうことになり、重い責任を感じていました。

職場には、国、他自治体、旅行会社、保険会社からの職員、そして外国人のプログラムコーディネーターが働いていました。業務課にも外国人がおり、よく彼が「アンフェア」、「ノープロブレム」、「ガットイット」と言っていたことを思い出します。外国人を含めていろんな方々と一緒に働けたことがよい思い出です。

また当時、自治体職員向けの海外派遣研修の「クレア国際塾」があり、私は勤務2年目の8月末からイギリスなどを3か月訪問しました。最初の2か月は、ロンドン近郊のチョリウッドでホームステイをしながら、前半はロンドンの語学学校、後半はイギリスの行政制度を教える学校で講義を受けました。その後2週間、ランカシャーカウンティで地方研修を受け、最後の2週間は好きなところに行ってよいということで、イタリア、スペインを一人旅しました。この一人旅が大きな自信になりました。

クレア勤務後は兵庫県に戻り、国際交流課に平成9年度まで、それ以降、平成24年度まで防災関係部局など、平成25年度からの2年間は、世界ジオパークの1つ「山陰海岸ジオパーク」の担当を経て、そして平成27年度から18年ぶりに国際交流課に復帰しました。

クレア勤務で得た財産は、なんとと言っても人です。平成7年の阪神・淡路大震災では、クレア関係者から安否を心配する電話を多くいただきましたし、大分県の方からは、同県が交流をしているイギリス・ウェールズ地方からの被災青年の留学招待の申し出を私につないでい

兵庫県産業労働部国際局国際交流課長 石田 勝則  
いただきました。また、現在でも近隣府県の国際交流担当課長などがクレア勤務時代の同僚ですので、気軽に情報交換ができています。

語学学習については、クレア勤務時代から始め、何年たってもなかなか上手になりませんが、昨年、国際交流課に復帰してから、国際交流員の英語や韓国語教室に楽しみながら参加しています。

また、一昨年20年ぶりにホームステイ先のご夫妻に会いに、家族でイギリスに行きました。遠いところでも心が通じる人がいることはいいものです。



イギリスホームステイ先の夫妻と（20年ぶりの再会）

### プロフィール

- 所属：兵庫県産業労働部国際局国際交流課長
- 主な仕事：友好姉妹州省などとの交流推進、地域国際化の推進
- CLAIR時代の所属：業務部業務課（平成3年10月～平成6年3月）
- 趣味：スイミング、音楽鑑賞